

# LIBRARY NEWS

No.20, October 2013

# 20

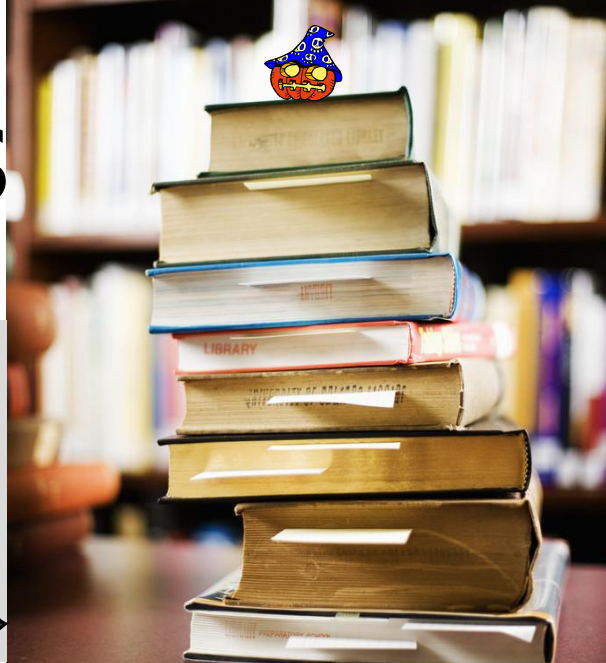
□ サイエンスカフェを開催します！

□ 私のお勧め本 第15回

本学病院 上田看護部長が、『看護の時代』  
『ナレッジマネジメント』を推薦します。

□ 図書館からのお知らせ

電動書架資料の特別貸出について



## サイエンスカフェを開催します！ 10月24日17:30は図書館へGO！

# 感覚器の世紀・ 21世紀の10年



### 図書館サイエンスカフェ 第3回ジャムセッション

## 10月24日(木)17時半～於図書館

恒例となりました図書館サイエンスカフェ。今年、「感覚器の世紀・21世紀の10年」と題して、10月24日(木)に開催します。今回は、嗅覚・視覚・聴覚等を研究されている3名の先生から、お話しいただきます。

最後には会場のみなさんとの質疑応答の時間も設けています。

先生方の研究者としての姿は、学生の皆さんが普段見ている授業における「先生」とはまた別の姿かもしれません。

会場は、“あの”図書館ロビーです。少し狭いですが、先生方の位置がいつもよりぐーんと近く、従っていつもよりぐーんと気軽に質問ができるはずですよ！

ぜひ、ご参加ください。

### What's OPEN ACCESS

このサイエンスカフェは、10月最終週のオープンアクセスウィークのイベントとして毎年行っているものです。この1週間は、世界中でオープンアクセスの広報活動が行われています。

オープンアクセスとは、学術情報(学術論文)を、インターネットを通じて誰もが無料で閲覧可能な状態に置くことです。

<http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

旭川医科大学では、AMCoR(旭川医科大学学術成果リポジトリ)で、先生方の論文や報告書等をオープンアクセスにしています。

キーワード検索や著者名検索で出てきた論文は、全てその場で読むことができます。気になる先生の論文も入手できます。

こちらにもお気軽にアクセスしてみてください。図書館HP・旭川医科大学HPのトップページにバナーがあります。



眼科学                      生理学・神経機能分野                      耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

長岡泰司

柏柳 誠

片田彰博

准教授

教授

講師

### 図書館入口ロビーで開催！

各分野の最前線を走る本学の先生方が、それぞれの研究内容や最新の取組みを、熱く、易しく、語ります。

カフェのような気楽な雰囲気、普段聞けないこと質問しちゃいましょう。学生・院生・教職員・事務職員のたくさんの参加をお待ちします。

# うちの先生ってスゴイんだぜ



## 看護の時代—看護が変わる 医療が変わる

 日野原重明／川島みどり／石飛幸三著 日本看護協会出版会 2012 図・開架書架/看護学 WY/9/Kan

1冊目は、日野原重明／川島みどり／石飛幸三著『看護の時代—看護が変わる 医療が変わる』(日本看護協会出版会 2012)をお勧めします。

本書はお二人の医師と看護師の立場からのメッセージと鼎談から構成されています。看護職だけでなく、医療に携わる職種の方々、学生の皆さんにお勧めします。日野原先生は「チームでパートナーを組む医師の診断や治療の適切性について、看護師が評価をし、時として修正を提案できるようになることまで私は期待しています。医師か看護師のどちらがケアに当たるべきかといった議論は意味のないものであり、ケアを必要としている人に最初に出会った者が手を施せば良いのだと私は考えます。」と述べています。この言葉から、我々看護職は、可能性を秘めた看護の力のほんの一部分しか、活かせていないのかもしれないと気づかされました。

「看護とは何か」「看護師は何をする人か」を改めて考え、勇敢にチャレンジしたいと熱くなる一冊です。

## ナレッジマネジメント—創造的な看護管理のための12章

大串正樹著 医学書院 2007 図・開架書架/看護学 WY/105/Nar

2冊目は、大串正樹著『ナレッジマネジメント—創造的な看護管理のための12章』(医学書院 2007)をお勧めします。

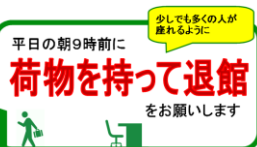
看護組織の知識を切り口にして理解する内容です。ともすれば、日々の業務に流される現場では、看護の知を共有する場を設定することが大切だと改めて感じます。患者さんの状態を判断し、個別的なケアを継続して提供するという一連のプロセスが看護の知そのものです。日常的な実践の場、例えば、カンファレンスや看護師同士の昼休み、面談、学習会等の中で「患者さんの状況からどう判断したか、看護独自のケアは何か、ケアを行ってどう変化したか」を共有する場を作ることが管理者の役割であると述べています。

日頃の看護に行き詰まった時に新たな視点を導いてくれる一冊です。



## 図書館からのお知らせ

### ご協力ありがとうございました！



9/3～9/27の間行っていた、開館前の退館にご協力いただきありがとうございました！  
少しでも多くの方に座席をお使いいただくために実施しました。冬期の試験期にも行うかどうかは現在検討中です。

開館前には、清掃作業を行いました。いつもはできないパソコン周辺のホコリを払うこともでき、ピカピカ(!)で、利用者の皆さんをお迎えすることが出来ました。



図書館増築工事にともなう図書館利用変更についてのお知らせは、工事スケジュールが決まり次第お知らせします。



### 図書館の電動書架の更新作業にともなう特別貸出について

図書館の電動書架に入っている雑誌・図書は、工事が完了する来年3月まで倉庫に保管します。利用できない期間が長期になるため、対象資料を特別に貸し出します。

対象：電動書架の和洋雑誌(1975-1985年)  
電動書架隣接の洋雑誌Ne-S(1986-1999年)  
電動書架所蔵の旧版図書(出版年2000年まで)  
貸出手続き等：

平成25年10月15日から25日の平日、カウンターで手続きします。返却は、平成26年4月末です。雑誌は教室単位、図書は個人に貸し出します。

詳細は、図書館ホームページをご参照ください。



### 秋～冬は館内の室温調整が難しい時期です。服装での調整にご協力ください。

図書館の暖房は、10月15日より入る予定です。暖房が入っても、細かな調節ができませんので、図書館内でも場所により、温度にバラツキがあります。特に10月から11月は天候も不順ですので、ひざかけや上着等での調整をお願いします。